

## 連日猛暑日、社員の身より体裁重視！ その1

乗務員の皆さん！連日の猛暑日、夏季輸送お疲れ様です！  
早や、職場の節電も2ヶ月が経過しようとしています。

会社は日本中、国会議員も含めスーパークールビズが主流になる中、私たちの要求をことごとく無視して、分厚い生地 of 制服着用を一步も譲らず、制服・ネクタイが美德であるかの一方向的な評論掲示でスーツ出勤や服装を整えさせる掲示を出しています。

管理者らは、庁舎内ではエアコンの下で制服の上着を脱ぎ、汗だくで働く乗務員をよそ目に社員管理に没頭しています。

そして、関西電力からの節電要請を受けたとは言うもののロッカールーム、乗務員待機室、乗務員準備室と乗務前から汗だくになり、さらに乗務を終え汗をかいた社員に対してさらなる不快感と疲労感が仕事意欲を低下させています。

また、他所の乗務員の皆さんから「車掌トンボ等4～5時間も段落ちで待機室で過ごす時間、せめて待機室は設定温度を下げてゆっくり涼しく休養できる環境にしてほしい」など暑さに対する不満をしょっちゅう耳にしました。

## 現場社員の感情・実情をまったく無視した副所長のコメント

現場管理者の社員の感情・実情をそうした乗務員の切実な声を逆なでするように7月の所内誌「轍」で勝見副所長は「・・・適当に汗をかいた方がコンディションには良い・・・」などと書いています。これは仕事の内容や質をまったく理解していない発言です。

このように乗務員の仕事の特殊性、制服着用など考慮し、関西電力の節電要請はあるものの、夏季輸送にたずさわる社員を犠牲にし、体裁を重んじるやり方には納得いきません。

日中は外気温度に適合した温度設定にするべきでしたし、今後も要請期間内にもすべきではないでしょうか！

ちなみに8月の所内誌「轍」に『「メリハリ」をつけた温度設定』と所長のコメントが書かれていましたが、日中の外気温度に適合し「メリハリ」をつければよいのではないのでしょうか！？

**仕事効率がはかどる爽快クールビズの服装で、外気温度に適合した涼しい職場環境で十分な休養、リフレッシュした気分で仕事がしたい！！**